

東工大 化学生命科学研究所 講演会のお知らせ



Gadolinium complexes for zinc detection by Magnetic Resonance Imaging: from rational design to in vivo applications



Dr. Célia Bonnet

Research Director, Centre de Biophysique Moléculaire, CNRS

日時: 令和5年11月30日(木) 15:00~

場所: 化学生命科学研究所 R1棟 第1会議室

磁気共鳴画像法(MRI)は、画像診断法としてのみならず、近年では分子イメージングへの応用研究が盛んに行われています。Bonnet先生には、生体内で2番目に豊富な遷移金属イオンであり、遺伝子転写や酵素の機能制御に中心的な役割を果たしている亜鉛を検出するMRI造影剤についてご講演いただきます。MRI造影剤であるGd³⁺錯体に、リンカーを介して亜鉛の配位子を結合した亜鉛応答性造影剤(*Inorg. Chem.* **2023**)や、亜鉛フィンガーペプチドを応用した生物学的な発想に基づく造影剤(*Chem. Commun.* **2018**)に関してご紹介いただきます。最新の*in vivo*の成果と共に、選択性・定量性といった課題についても議論いただく予定です。奮ってご参加ください。

問い合わせ先: 岡田 智(内線5279)